

議会 だより いながわ

第153号

平成26年(2014年)11月1日

発行：兵庫県猪名川町議会

災害復旧費を計上 2

旧阿古谷小学校を活用する
優先交渉事業者決まる 4

子ども・子育て支援
新制度関連条例を制定 5

一般質問
9人が町の考えを聞く 6



中谷中学校



中谷中学校



六瀬中学校

農地・農業用施設
町道・河川

災害復旧費を計上

第372回 9月定例会

第372回定例会を9月9日から9月24日まで16日間開会し、専決処分1件をはじめ、26年度会計補正予算3件、人事案件3件、条例の制定3件・改正3件・廃止2件、水道・下水道事業会計決算2件、その他2件を審議し、賛否・討論のあった2件は賛成多数により、その他の議案は全会一致で原案どおり承認・同意・可決・認定した。このほか請願1件を採択とし、健全化判断比率及び資金不足比率と教育委員会点検・評価に関する報告を受けた。なお、25年度一般・特別会計の決算6件については、各常任委員会に付託し継続審査とした。

専決処分

一般会計補正予算を承認
8月9日・10日・16日・24日の豪雨災害に係る経費を承認。災害対策本部に係る一般管理費534万8千円、農地農業用施設災害復旧費1800万円、河川等災害復旧費1700万円を増額。

人事案件

人事案件3件に同意
副町長の選任
任期満了に伴い、宮脇修氏の選任に同意。任期は平成30年9月22日まで。
人権擁護委員候補者の推薦
任期満了に伴い、井上佐江子氏の推薦に同意。任期は平成29年12月31日まで。
教育委員会委員の選任

条例制定

条例の制定3件
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
子ども・子育て支援法第34条第2項及び第46条第2項の規定に基づき、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める。

条例改正

条例の改正3件
福祉条例及び福祉医療費の助成に関する条例
母子及び寡婦福祉法の名称が、母子及び父子並びに寡婦福祉法に改称されることに伴い、文言の整理を行うため、関係2条例の一部を改正。
環境交流館の設置及び管理に関する条例
環境交流館の管理運営について、指定管理者を指定することに伴い、本

条例廃止

条例の廃止2件
保育所における保育に関する条例
児童福祉法において条例委任事項とされていた保育の実施に関する基準が同法及び子ども・子育て支援法に規定されるため、本条例を廃止。
旧学校施設の設置及び管理に関する条例
旧学校施設について普通財産とするため、本条例を廃止。

特別会計補正予算

補正予算2件
26年度介護保険特別会計補正予算、26年度農業共済特別会計補正予算をそれぞれ増額。

意見書を提出
手話言語法制定を
求める意見書の
提出を求める請願

◎請願者 猪名川町ろうあ協会

結果
本会議 全員一致で採択

「意見書」を国へ提出

要旨

手話が音声言語と対等であることを国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ自由に使い、更には手話を言語として普及・研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」の制定を要望。

各会計の補正額

会計	補正額	補正後の総額
一般会計	3億5,426万円	101億1,980万円
特別会計	3,943万円	20億5,390万円
特別会計	103万円	3,832万円

討論

議案第61号特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について
賛成
複雑な制度になっただけで、子どもに視点がかわらないため反対。

議案第62号家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について
賛成
現代の子育てがなされておらず、子育て世代の支援には大切な制度で賛成。

議案第61号特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について
反対
現代の子育てがなされておらず、子育て世代の支援には大切な制度で賛成。

議案第62号家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について
賛成
現代の子育てがなされておらず、子育て世代の支援には大切な制度で賛成。

議案第61号特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について
反対
現代の子育てがなされておらず、子育て世代の支援には大切な制度で賛成。

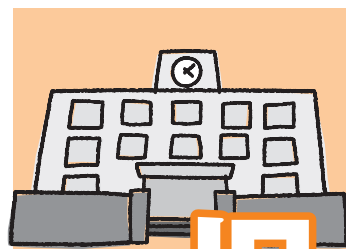
議案第62号家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について
反対
現代の子育てがなされておらず、子育て世代の支援には大切な制度で賛成。

議案の審議結果 ※全員が賛成の議案は、表示していません。

議案名	ネット			日本共産党議員団	共栄会	清流会	アクティブいながわ	いなわ	が末	会派議員	属議員
	久保宗一	加藤郁子	丸山純								
議案第61号	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
議案第62号	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 ※議長は採決に加わらないため「一」で表示、退席は「退」で表示

総務文教



旧阿古谷小学校を活用する 優先交渉事業者決まる

9月10日に委員会を開会し付託の議案を審査。主な質疑は次のとおり。
一般会計補正予算

Q 私立幼稚園就園奨励費補助金が増額補正されているが、対象園児の地区分布は。

A それぞれの私立幼稚園を通じて補助金を交付しているため、地区ごとの園児数はまとまっていない。

Q 債務負担限度額6億7千8百万円の根拠は。

A 住民情報システムを来年9月まで延長することと、経費節減を見込み、社会保障・税番号制度に対応するため債務負担行為の追加補正をした。

Q 町制施行60周年記念式典で、なぜ猪名川音頭を実施するのか。また、事業費を補正予算で対応する理由は。

A 来年の式典に向け実行委員会を立ち上げ、猪名川音頭を後世に伝えていくよう啓発に努め記念式典で披露する。また、対象経費は実行委員会への補助金や、事前準備にかかる経費、また口ゴマークやキャッチフレーズの募集など、早期啓発に必要な最少経費を計上した。

Q 実行委員会の委員構成は。

A 一般公募3人、商工会・観光協会・文化協会・

体育協会・猪名川高等学校・JA兵庫六甲・能勢電鉄の10人で構成した。

Q イベントを継続していくには、実行委員会だけでは限界があり、一過性に終わる懸念もあるが。

A 住民の参画と協働を趣旨として実行委員会を立ち上げ、事業には町職員も率先して取り組むことが重要と考える。

Q 旧阿古谷小学校の跡地利用について、関係事業者と協議を進めているとのことだが、補正予算との関連性は。

A 優先交渉権を有する事業者と協議を進めているが、地元との協議で町

が実施すべき事項を予算計上した。

Q 旧学校施設の設置及び管理に関する条例の廃止について

A この時期に条例を廃止する理由は。

A 来年1月に旧学校施設を事業者に譲渡する計画で、改修におおむね1年を要し、新施設の開所は平成28年4月以降を予定している。また、都市計画法や法令上の許認可事務を速やかに行うことが必要である。
(いずれも全会一致で可決)



旧阿古谷小学校

子ども・子育て支援

新制度関連条例を制定



元気に遊ぶ子どもたち

9月11日に委員会を開会し付託12議案を審査。主な質疑は次のとおり。

一般会計補正予算

◎ 社会福祉費の心身障害者(児)福祉金は、人数が増えたための増額と
いうことであるが、何人
増えているか。

A 障害者手帳所持者の
合計で、1267人が1

280人と13人増えている。1級と2級が2万2500円、3級が8千円と単価違いによる増額。

◎ 国庫補助金の耐震診断事業費補助金について4件すべてが不採択となった理由は。

A 国はホテル・旅館や病院については階数3階建て以上、延床面積5千

㎡以上を基準に予算化されていた。兵庫県が1棟あたりの基準面積を再精査した結果、新耐震基準による増築も含めて基準以上であったため不採択となった。

(全会一致で可決)

水道事業会計決算の認定

◎ 収益的収入の水道事業収益について、平成26年3月補正予算時での金額と比べて、決算額は1800万円増えているが要因は何か。

A 外国為替に関する受取利息の増加や消費税増税の影響から、口径別担金の駆け込み需要による増加となっている。

(全会一致で認定)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

◎ 幼保連携型認定こども園について、幼稚園の教育要領や保育所の保育指針は町が作るのか。

A 国において幼保連携型認定こども園教育保育要領が設けられ、それに基づいて各園が運用して

いく。

(賛成5・反対2で可決)

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

◎ 第6条に家庭的保育事業者等に代わって保育を提供とあるが、同等の資格が必要なのか。

A 小規模保育については、職員が病気などで休むと運営ができないため、代替施設として大規模な施設などと連携して、保育を実施することとなっている。

(賛成5・反対2で可決)
(その他8議案についても審査し、いずれも全会一致で可決)





イノシシに荒らされた田



肥爪 勝幸 議員

Q 有害獣駆除はどうするのか

A 鳥獣被害対策実施隊の設置を検討する

イノシシによる水稲被害が多く発生している。シカ・アライグマ・ヌートリアなど被害は尽きない。今年の農作物被害状況はどうか。

地域振興部長 早期米の水稲損害評価野帳では55筆のうち49筆が獣害。昨年度より増加傾向にある。

本町における有害獣駆除とアライグマ・ヌートリアの特定外来生物駆除頭数は。

地域振興部長 8月末現在でシカ20頭、イノシシ28頭、アライグマ105頭、ヌートリア2頭と昨

年度より増加している。前年度比較において、兵庫県全体のシカ・イノシシの有害獣駆除頭数に対して本町は少ないが、取り組みはどうなっているのか。

地域振興部長 猟友会に銃猫を基本に駆除を委託し、今年度は12集落で駆除活動した。昨年度から「わな」による駆除申請も許可している。

今後の有害獣駆除をどう考えているのか。

地域振興部長 町が直接実施できる鳥獣被害対策実施隊の設置について検討する。

ひとくちメモ
筆(ひつ) 土地登記簿において、土地の個数を表す単位



丸山 純 議員

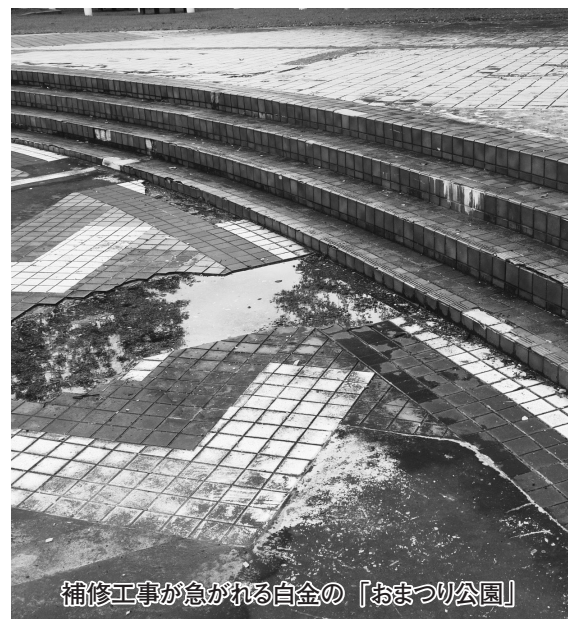
Q 給食センターでふれあい弁当の給食を

A 学校給食センターで作るのは困難

ふれあい弁当の現状・課題と、今後学校給食センター利用による配食の検討は。

生活部長 ふれあい弁当事業は今年9月時点で配食数45食前後と、若干の増加傾向。今後増加することも視野に入れ、民間配食事業者への委託も含め検討中である。

教育部長 学校給食センターから学校以外への調理・配食を福祉施設や一般に提供している事例はない。しかし、この施設は文部科学省の補助金を投入しておらず、状況によっては、今後検討して



補修工事が急がれる白金の「おまつり公園」

いくことも方法のひとつ。

白金のおまつり公園の改修工事を来年度実施してほしい。

まちづくり部長 毎年限られた予算の中で補修・修繕を行っており、来年度予算で改修できるとは答えられない。

現在の白金自治会館を町に返還後、いこいの施設にしては。

生活部長 いこいの場については、町あるいは社会福祉協議会が運営するのではなく、地域住民自ら自主運営されることが望ましい。



福井 澄榮 議員

Q 土砂災害から身を守るためには

A 防災マップ等を活用していただきたい

台風11号、その後の集中豪雨により各地で甚大な被害が発生した。幸いにも本町では人命が損なわれる被害ではなかったが、今年1月に全戸配布された防災マップの活用や早く避難するよう、子どもたちへの防災教育が大切ではないか。

企画総務部長 土砂災害から身を守るためにも防災マップの活用、早めの避難、いなぼうネット、緊急速報メールなどで危険情報を提供している。日頃からテレビ・新聞・インターネットなどで関心を持つことがもつとも



平成26年1月に全戸配布された防災マップ



豪雨で崩壊した土手 (原地区)



池上 哲男 議員

Q 河川の土手改修を県に強く要望すべき A 総合治水計画に盛り込むよう要望する

今回の台風やその後の大雨で、伏見台でも水路が土石で埋まる被害も出ている。その上の山に手を入れたとしたら、起因者に一定の責務があるのではないか。

地域振興部長 この地域の伐採は適正な伐採であることを確認している。山肌の崩壊は認められず、森林伐採が原因ではないと考えている。

まちづくり部長 開発事業者と協議し、事業者において実施された。移管後の管理は町となる。

まちづくり部長 県は総合治水条例を策定し、本町のある阪神東部地域の計画づくりが進められようとしているので、この計画の中に盛り込むよう、要望していく。



合田 共行 議員

Q 健康管理を応援する環境づくりを
A 場所の提供、空間確保に検討する



高齢者福祉施策の一環として、健康管理の視点から応援する環境づくりに、憩いのスポット「ポケットパークの推進」と「健康器具設置公園」を。

【まちづくり部長】 ユニバーサル社会に合致し、健康管理面からも有効と認識している。集える場所の提供、空間確保について検討する。

軽スポーツ、健康いきいき体操や自彊術、百歳体操、高齢者が自由に参加しやすい健康増進策を。

【生活部長】 来年度以降、より良い実施に向け検討している。

高齢者が住み慣れた町、地域の生活に配慮した施策が必要である。福祉講座、ホームヘルパー2級講座を開催し、福祉アドバイザー、コンシェルジュの養成を行う。

【生活部長】 国の生活支援・介護予防サービスの充実として、高齢者の生活支援コーナー配置がうたわれており、高齢者が地域で住みやすいよう設置に取り組む。

〈その他の質問〉
公共施設の今後のあり方
介護保険制度事業計画他

Q 職員も認知症サポーターに

A 関係窓口職員等に養成講座を開催する



山田 京子 議員

高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画に、認知症サポーター養成講座を実施し増員を図っていると書いているが、認知症サポーター養成研修で配布されているオレンジリングを付けている職員を見かけない。窓口業務に携わる職員だけでもサポーターになり、オレンジリングを付けてはどうか。

【生活部長】 多くの職員に対する養成が必要なことから、関係窓口職員などを対象とした養成講座を開催していく。

認知症サポーター養成講座で、講師などをしてい



猪名川高校でのサポーター養成講座の様子

る認知症サポーターキャラバンメイトの必要性は。

【生活部長】 地域で認知症を支える環境づくりとし、住民に普及・啓発活動をする認知症サポーターを養成することが大切なことから、講師役であるキャラバンメイトの増員・養成が必要だと考える。

認知症サポーターキャラバンメイト増員のため養成研修が必要と考えるが。

【生活部長】 課題はあるが、キャラバンメイト養成研修実施に向け取り組みを進めたい。



南 初男 議員

Q 危険な屏風岩橋を安全に

A 平成26年度から35年度に事業着手

主要地方道川西・篠山線屏風岩橋を安全にと何度が質問してきた。現状は、烏帽子岩橋の本橋が老朽化し、現在は工場で製作中と聞く。橋が完成すると、南行きが走りやすくなり、より一層S字カーブの屏風岩橋が危険となる。

屏風岩付近は北摂の名所でもあり、地形からこの道路しか無かったと思うが、新名神高速道路の開通・道の駅・学校給食センターなど今後車両の通行量は少なくなるとは考えられない。早急な対策が必要と思うが。



歩道がなく危険な屏風岩橋

【まちづくり部長】

旧烏帽子岩橋は新橋を延長し、再度工事に着手、来年度夏に完了すると聞いている。烏帽子岩橋を含む改良工事や歩道のない屏風岩橋と前後の道路を町から県への要望順位一位とした結果、阪神北地域社会基盤整備プログラムにおいて、屏風岩橋を含む道路拡幅延長200mの事業を、平成26年度から35年度に着手して頂く。今後は早期着手に向け引き続き要望して頂く。



学校給食



久保 宗一 議員

Q 給食費1億5千万円は公会計化すべき A 放置することなく導入に向け検討する

給食費の集金方法や管理面での安全性の担保は。【教育部長】 公費として扱わず、学校長が徴収して学校給食センター会計に収納。現金で取り扱わないような事務員が処理している。

【教育部長】 現行のメリットは、緊急の食材調達に対応できることだが、滞納にかかる法的手段が行使できないデメリットがある。公会計化のメリットは会計の透明化にあるが、システム構築に費用がかかるデメリットがある。

町長部局の所見は。

【企画総務部長】

現行のまま放置することなく、導入に向けた課題の整理などを検証し検討する。

住民からのクレーム件数や傾向などの状況は。

【企画総務部長】

件数や傾向はつかんでいないが、苦情としては、職員の窓口対応や行政情報に対する不満などがある。

【教育部長】 学校現場では年間数百件程度で、教員の資質、指導内容、事故対応に関するクレームがあり、増加傾向にある。



下坊 辰雄 議員

Q 高齢者が安心して暮らせる施策は

A 様々な角度から研究し努めていく

高齢者の一人暮らしの孤独死が増加している。緊急通報システム以外に孤独死を無くす施策は。

生活部長 一人暮らし高齢者への通報手段として、緊急通報システムを65歳以上・重度身体障害者などの一人暮らしの人を対象に、現在123台を設置している。一人暮らし高齢者世帯など孤独死が社会問題となり、昨年8月に各家庭を訪問し異変を発見する可能性のあるライフライン企業など、23団体と県社会福祉協議会及び県民生委員児童委員長連合会の間で、「兵



緊急通報装置



庫県地域見守ネットワーク応援協定書」が締結された。この協定書に基づく事業に参画し、適切な対応などに努めていく。

生活部長 高齢者が安心して暮らせるために、外出支援の助成、24時間の医療体制の施策は。

生活部長 高齢者の外出として、ふれあいバスの無料運行、要介護認定者・障害者手帳の所持者は「福祉有償運送サービス」で安い料金設定で支援。北部医療体制は様々な角度から研究し、安心して暮らせるよう努める。

お知らせ

委員会の異動

議会広報特別委員会

平成26年9月2日付
 肥爪勝幸委員の
 辞職に伴い、末松早苗
 委員を指名。

議会運営委員会

平成26年9月26日付
 石井洋二委員が
 辞職。

会派の異動

平成26年9月26日付
 会で、会派の解散が
 ありました。

代表 合田共行
 石井洋二

みなさんも
 議会・委員会を
 傍聴しませんか



町議会では、身近な問題などを議論しています。まちづくりと一緒に考えてみませんか。
 傍聴の手続きは簡単で、当日、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。
 (議場20人、委員会室10人まで)

26年度

定例会の日程(予定)

*12月定例会

- 12月9日(第1日)
- 12月16日(第2日)
- 12月19日(第3日)

*3月定例会

27年2月24日～3月25日

※議事の都合により変更する場合があります。

本議会を録画配信でご覧下さい!!

本会議終了後、おおむね5日程度で町ホームページからご覧いただけます。



(本会議の様子)

(町ホームページから町議会をクリックし、町議会から録画配信をクリックして映像配信にお進みください。)

猪名川町議会 映像配信

議員名をクリックして一般質問や代表質問をご覧ください

議員の名前から選ぶ

い	池上 哲男	し	下坊 辰雄	み	南 初男
	石井 洋二	す	末松 早苗		宮東 豊一
か	加藤 郁子	に	西谷 八郎治	や	安井 和広
く	久保 宗一	ひ	肥爪 勝幸		山田 京子
こ	合田 共行	ふ	福井 遼樂		
し	下神 真千代	ま	丸山 純		

前画面へ戻る

議員

日程



録画配信は、皆さんに、より近い議会をめざした取り組みです。

検索して見る場合はこちら
キーワードや議員名から検索できます。

猪名川町議会本会議の録画映像をご覧いただけます。

定例会名をクリックすると、開催日が表示されますので、ご覧になりたい日程を選択(クリック)して下さい。

年度をクリックしてお進みください

録画中継トップへ戻る
前画面へ戻る

猪名川町議会 映像配信

左側フレームで条件を設定してください。

映像をご覧になるには、「WindowsMediaPlayer」が必要です。インストールが必要な場合は、下のアイコンのリンク先よりダウンロード・インストールしてください。

こどもたちの声



「いつきます」

中谷中学校3年

なかお 莉ほ
中尾 莉帆

いつきます
そう言うために
それをきくために
毎日を生きたる
いつきます
それを待つてくれる人が
そう言うてくれる人が いなかつたらなんて
考えたくもないけれど
いつきます
それを言いたい きいてももらいたい
その願いは
きくと
願いが叶え続けられるよう
願う毎日を生きたる



手の気持ち

猪名川中学校2年

あだち まさと
足立 賢人

僕は、暴力をふるうために
生まれてきたんじゃないよ
君が暴力をふるうために僕を使うなら
僕は「手」ではなく「道具」になつてしまふ
僕は人助けのできる手になりたい
そんな「本当の手」になりたい



議会運営委員 研修会に参加

●8月11日

ホテル北野プラザ六甲荘

兵庫県議会議長会主催の議
会運営委員研修会に本町から7
人が参加しました。全国都道府
県議会議長会 議会制度研究ア
ドバイザーの野村稔氏から、①
戦前戦後の議会②議会運営委員
会のあり方の講演があり、議会
運営の認識を新たにしました。



野村稔氏の講演

編集

後記

秋も深まり、里山が
紅葉に彩られる季節を
迎えました。

9月議会では、8月
の台風や豪雨によって被
災した農地農業用施設
及び河川・町道などの
災害復旧費を補正予算
として審議・可決しま
した。被害にあわれた
方々に心よりお見舞い
申し上げます。

子育て支援に関する
条例制定も可決し、子
育てが今までよりしや
すくなることを期待し
ます。

議会広報特別委員会
末松早苗

